

4月になりました。

行政とのお仕事上は新たな年が始まったばかり…。改めて令和3年4月になりました。

巷ではいまだにコロナウィルスパンデミックの脅威がおわりません。罹患によって悪化されると言われるので細心の注意をはかり家にこもっている高齢者もいればマスク姿の来館者もいます。行動は違いますが、同じ様に足腰の痛み、軽い鬱状態などを抱えながらも世間や家族の迷惑にならないようにと…自らの意思をもって健康長寿や自立生活の維持をはかろうと努力しておられます。そういう来館者のために私たちができるのは、安全で安心な利用環境のご提供です。「楽しく、このゆうゆう館で今日という日を十分に生きて頂きたい」と願って

春の日差しが気持ちのよい体操講座のあとの一時換気の為に開け放してある窓から庭をみていた方が「あそこのチューリップきれいね」とその声に促されて私も他の方も庭を見てみると…確かに赤いチューリップが咲いています。見た方はみな口々に「でもどうして1本だけなの?」「なんで1本?」といぶかし気に私の方を見て問いかけてきます。

「1本だけというより…庭にチューリップを植えていないのですけど…」
「でも確かに咲いていますね。種子植物ならわかりますが…球根ですものね」
一体誰がこれを植えたのでしょうか?ミステリー話になりかけた時、元理科の生物専門教師の方が「球根により育つただけだね…その球根の基は土の中にあるの。それが成長し咲かせているの」
「そういう環境でも花が咲けたという事は様々な自然条件がそろい初めてできる事。すごいことだわ」と…その話を聞き今一度チューリップ見た皆さんは笑顔で「長い事がんばってきたのね。」
「今も頑張っているのよ」「来年このチューリップの子孫が咲くかも」と…

この庭にはチューリップの様にどこからともなく運ばれてきた「名の知られない草」たちがメジャーなチューリップに負けないほど美しくしっかりと咲き誇っています。自分らしく、しっかりと自分の生きざまを貫いている雑草たちの写真を撮りました。



そんな風に庭を見回していると石畳沿いにタンポポ。
「他のタンポポよりとげとげしくなく控えめ」な印象です。
もはやこれが…絶滅の恐れがある
日本タンポポ(カントウタンポポ)では?とまた1枚
絶滅種であろうがなかろうが…

どの子もみんなしっかりと咲いてください。
思いっきり自由に咲き誇っててください。
その強く美しい姿をみせたら、
除草作業員の方もこのまま残してあげようと思ってくれるかもしれません。

ゆうゆう館の少し乱雑な庭に咲く花々に
自分らしく十分に精いっぱい生きるには、強さも必要だと教わった
春の日差しいっぱいの4月の始まりでした。

